

# 琉球大学学術リポジトリ

## ご挨拶

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学21世紀COEプログラム 公開日: 2007-10-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森田, 孟進 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/2177">http://hdl.handle.net/20.500.12000/2177</a>

## ご挨拶



皆様、おはようございます。本日のシンポジウムへご参加下さいました皆様に対しまして、琉球大学を代表して感謝申し上げます、心から歓迎の意を表します。

琉球大学21世紀COEプログラムの第1回国際シンポジウム開催についてご案内いたしましたところ、大変多くの方々にご参加を頂きました。有り難うございました。シンポジウムの開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

文部科学省が平成14年度から進めている21世紀COEプログラムは、競争原理により、世界的な研究教育拠点の形成を重点的に支援し、国際競争力のある世界最高水準の大学づくりを推進するためのプログラムで、特に大学改革や若手研究者の育成が期待されています。本学は沖縄の特徴ある自然環境を主題とした「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」について提案いたしましたところ、本年度採択され、すでに活発な活動を開始しています。

本COEプログラムでは、琉球列島の島々と、それを取り巻くサンゴ礁を大きなシステムとして捉え、琉球列島における生物多様性の進化、維持機構を、分子生物学から生態学など多様な学問分野の手法を駆使し、微生物から高等植物や脊椎動物まで、また陸上から海洋までを対象とし、多分野の研究者が連携を保ちながら研究教育にあたります。このプログラムを進めながら、私どもは本学にアジア太平洋地域の国際的研究教育拠点を構築することを目指し、さらに研究成果がこの重要課題について世界的に貢献出来ることを願っております。

第1回国際シンポジウムでは生物多様性研究で太平洋域のみならず世界的に活躍されておられるハワイ大学名誉教授のMueller-Dombois先生に基調講演をお願いいたしました。太平洋域に関する生物多様性に関する興味深いお話を勉強できるものと楽しみにしております。また本学が学術交流協定を締結しておりますハワイ大学 (University of Hawaii)、南太平洋大学 (University of South Pacific)、チュラロンコン大学 (Chulalongkorn University)、フランス高等教育研究院 (Ecole Pratique des Hautes Etudes) から多くの先生方をお迎えし、ご専門分野の話題提供をしていただきます。

国内では北海道大学からお二人が参加しておられます。また沖縄県内で関心を持っていただいている多数の皆様にも参加頂くことができました。私どもは常に学外の皆様と交流しながら、多くのことを教えていただこうと思っております。活動の成果は地域にも国際的にも貢献するものでなくてはなりません。現在、本プログラムでは約70名の研究者、大学院生が活動しており、ほぼ全員がこのシンポジウムに参加しています。どうぞこのシンポジウムをひとつの交流の場として積極的に活用していただき、今後のプログラム発展に役立ててください。

本日のシンポジウムにおいて活発な議論が展開され、実りある成果が得られますよう祈念申し上げます。歓迎のご挨拶といたします。

森田 孟進 (琉球大学学長)